

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年3月4日 No.33

すみやか
署名

ビキニデー確信にさっそく署名行動に踏み出す



2010年へ向け、核兵器廃絶の大きな声と行動を結集していく最初の集会である3・1ビキニデーにあたり、3月1、2の両日、焼津市文化センターと清水文化センターで被災54周年2008年3・1ビキニデー集会、国際交流会議、日本原水協全国集会・分科会、核兵器なくそう・世界青年のつどい2008in静岡が開催されました。日本原水協全国集会、分科会には1000人が参加し、全国各地、草の根での運動が活発に交流されました。被災54年3・1ビキニデー集会には、午前中の墓前祭、墓参平和行進を含め1500人が参加。

国際交流集会には350人、青年のつどいには250人が参加し、大きく成功しました。

ここで得た確信をもとに、さっそく各地で行動がはじまっています。感想と決意も合わせて紹介します。

“元気が出た集会” ただちに行動

東京・武蔵野原水協は3月3日、「春を呼ぶだるま市」として季節の風物詩になっている深大寺だるま市で3・1ビキニデー集会に参加した人を含め、「すみやか」署名行動を行い、89筆を集めました。今年のビキニデー集会には武蔵野の東京農業大学から椎野綾さんが参加。3月22日から英オーダーマストーン50周年平和行進に日本原水協代表団の一員として参加する彼女の決意に、武蔵野地域からの参加者は感激してカンパも出そうと元気になっています。



三鷹原水協も4人で行動。3・1集会に参加した三鷹原水協北山事務局長は「行動するとき」と感じ、3日の行動に参加者に呼びかけ、3人が参加、59筆を集めました。

東京・足立区原水協は3月7日に足立区長に直接面会して「非核日本宣言」を申し入れることになっています。ビキニデー集会に参加した足立区原水協の青木佳子さんは、「この運動に全都が取り組むことが必要と秋田の報告を聞いて感じた。さらに署名運動にも取り組む事などこれからやるべきことがはっきりした。元気が出た集会でした」と話しています。

山口県原水協では、4人がビキニデー集会に参加。50周年を迎える今年の国民平和行進の県内通し行進者を山口市原水協理事長の小林和生さんに決められました。行進中は山口県知事選挙と重なりますが、小林さんの熱意にこたえ、例年に倍する参加で大きく成功させようと呼びかけています。

奈良県原水協からは、ビキニデーに例年を大きく上回る11人が参加。3人の代表を送り出した土庫(どんこ)病院事務次長の高崎大史さんは、「久々にビキニデー集会に参加して驚いたことは、はじめての人や青年の参加が多かったこと 映像の活用やビキニ事件の振り返りなど工夫がみられたこと 一般的にはビキニを知らない人が増えたこと、マスコミの取材が少ないこと」、「2010年のNPT国際会議に向けて、また次の世代へ向け、もう一度、ビキニ事件を再認識し、日本から『核兵器は何かあっても認められない=非核日本宣言』をアピールするときだとはっきりわかりました」と感想を寄せています。